

## 一般質問

立 鈴  
議員○公共施設の老朽化頻度及びリスト  
将来への処置対策計画について

**質** 市が管理する公共施設が築年数の経過に伴い老朽化が急速に進んでいると考えられるが、既存の施設を新設および再生するためには、予想外の多額の金額を必要とすると思われる。老朽化頻度リストを早急に作成し多額の借金を後世の子どもたちに背負わせる事のないようにすべきと強く考えるが、この件についてどう対策を講じるつもりか伺う。学校、給食センター、橋梁、下水道、消防施設等について順次答弁を願う。

**市長** 個別の施設については担当課長が説明しましたが、公共施設、またインフラ施設について、必要性を判断し、優先順位を定めて計画的に取り組んでいくことが重要だと考えています。老朽化した施設のうち建て替えが必要な施設について、市民の利便性向上とともに、維持管理費の縮減にもつながるよう施設の集約化を図りたいと考えています。また、他の大型事業との兼ね合いや、各年度における財政負担の平準化についても考慮しながら整備を進めていきたいと考えています。

## ○郷土愛を育む文化財全方位振興について

**質** 松浦市にはいまだ歴史資料館は建設されていない。トロ箱に入ったこれまでに発掘された多くの遺物の上に、新聞紙をかぶせホコリだらけで、40年以上図書館の二階奥に放置されたままの状態を目にしてきた。まったくお粗末の限りである。鷹島神崎遺跡・梶谷城跡も重要とは思いますが、他地域にも重要な遺物はある。一日も早く歴史資料館を建設し、先祖の方が生活を営んだ農機具、漁具等を今の子どもたちに直接目を通して触れる事により、郷土愛が自然に芽生える最重要教育の場となる。片寄り文化行政は全くよくない。これらのことについてどのように考えているか伺う。

**市長** 歴史民俗資料館については、不十分ではありますが、調川の民俗資料館や福島市の歴史民俗資料館、鷹島の埋蔵文化財センター等で展示、保管をしている状況です。なかなか建設のめどが立っていない状況については、将来的にも関係者の皆さま方のご意見を踏まえやらなければならぬと思っています。教育委員会では、松浦市文化財保存活用地域計画を策定しており、このような計画に基づきながら、適切に今後も行政運営をやっていくことが必要だと考えています。

## 一般質問

川 下  
議員

## ○豪雨災害から市民を守るための治水、減災対策について

**質** 今年九月の豪雨の影響で水路の一部が決壊し大量の水が流れ出る被害が出た。当該箇所は以前より水路強化の案が出ていたが地権者の許可が得られず未実施だった経緯がある。

近年の豪雨を見れば防災の観点からある程度強制力を持った整備は必要と考える。市長には先頭に立って法整備などを訴えていただきたいがどのようにお考えか。

**市長** 遵守すべき法律がない法定外公共物、青線に係る維持管理などの問題については、松浦市だけではなく、県内の自治体においても同じような問題を抱えているのではないかなと思います。

まずは今後立ち上げられる流域治水協議会や市長会などの会議において意見を交わしたいと考えています。

## ○屋内運動場など教育環境の整備について

**質** 安心で安全な教育環境の整備は大変重要である。市内小学校の屋内施設を調査したところ多くの改修す

べき箇所が見られた。中でも同じ年代に建設された今福小、志佐小、星鹿小の屋内運動場改修についてどのような計画になっているか。

**教育総務課長** 令和5年度から計画的に青島小、上志佐小、調川小、今福小、志佐小の屋内運動場の照明のLED化を図っています。次に、志佐小学校の屋内運動場の改築工事、その後、今福小、星鹿小の長寿命化事業を予定しています。

**市長** 志佐小学校の屋内運動場については、令和7年度に基本設計および実施設計を経て、令和8年度には改築工事に着手できるよう取り組めます。

**質** その計画について各校の校長には公表していないのはなぜか。

**教育総務課長** 計画における課題への対策、検討が十分でないため、公表には至っておりません。

**質** 公共施設等総合管理計画の中で「公共施設に関する問題意識の共有を図るための市民への情報共有の在り方について検討する」とある。情報共有は必要ではないか。

**市長** 学校施設長寿命化計画については、5年ごとに見直す計画です。で、現状における全面的な公開は、学校をはじめ、地域住民の混乱を招く恐れがあることから、個別の事業ごとにスケジュールが確定した段階で早めの公表に努めていきたいと考えています。